



日本筆記具工業会

〒116-0013

東京都荒川区西日暮里2-30-6

TEL03-3891-6161 FAX03-3892-9692

発行：日本筆記具工業会 調査研究広報委員会

URL <http://www.jwima.org>

ISO/TC10/WG18 東京会議 開催

2015.5.11 東京三田 日本規格協会ビルにて

5月11日9時から、東京・三田にあるJSA（規格協会）ビルにてISO/TC10/WG18（Drawing and writing instruments）の国際会議が開催されました。ISO/TC10は、もともとISOのTechnical product documentation（製図等技術文書）を扱うTechnical Committee（技術委員会）で、その中のWG18が筆記具・製図用具関係の規格を扱うワーキンググループです。現在、このWG18の議長は日本（株）サクラクレパス塩井顧問が務めています。（以下、塩井顧問の報告文を記載します。）

今回の主な議題は、日本から提案した一般用シャープペンシルPart 1（シャープ本体）とPart 2（シャープ用の芯）のNP投票（新規プロジェクト採択）で付いたコメントへの対応と、WG18関連ISO規格の定期見直し結果の処理に関するものでした。

WG18 meetingの参加者は、日本からコピナーである私と通訳を含め8名（途中、筆記具工業会西村会長も出席し9名）と、フランスから3名、TC10事務局のラドヘ氏（スウェーデン）を加えた計12名がメンバーでした。

審議はPart 1（シャープ本体）に付いたコメントへの対応から進められ、試験環境温度と芯の保持性の試験条件に関しては、日本からの説明で合意を得ることができましたが、フランスから新たに寸法規格の変更と追加の提案が行われました。

Part 2（シャープ用の芯）では、試験環境温度や折れ強度等については合意しましたが、日本案の規格の基本となっているレコード式画線機をフランスが使用したことがないため、日本が規定しようとした試験条件や規格が理解できず、合意に至りませんでした。

フランスは同じ画線機を購入したいということ

でしたので、日本は画線機のメーカーやスペックをフランスに知らせるとともに、できるだけ早く購入できるように協力することを伝えました。

試験紙については、日本案の規格幅が広すぎるとフランスから指摘が行われ、日本メーカーが使用している紙、油性ボールペン用の試験紙、水性/ゲルボールペン用の試験紙のどれでも使えるようにしたいという説明を行いました。フランスからは、例えば坪量の最も低い値で試験すると書けない場合もあるので再考してほしいとのことでした。

WG18関連ISO規格定期見直しの審議では、油性、水性、ゲルボールペンのそれぞれ一般用（Part 1）・公文書用（Part 2）と、油性・水性ボールペンの言葉の定義と液体製図用インキ2件の計9件の投票結果について確認しました。

それぞれのPart 1と定義規格の4件については、それぞれ改正投票が2件または3件（日本、中国、スウェーデン）あり、審議の結果、改正活動に入ることとなりました。一般用シャープペンシル規格については、来年早々に改正CD（Committee Draft）案が出せるよう、フランスの画線機購入の支援、追加試験、新たな提案された内容を含め規格の再検討等を行うこととなりました。



平成27年度 第14回通常総会開催！

日本筆記具工業会は5月15日、上野精養軒にて「第14回通常総会」を開催しました。今回は役員任期満了改選があり、西村貞一会長（㈱サクラクレパス）から小川晃弘新会長（㈱トンボ鉛筆）にバトンタッチが行われました。



＜西村会長 開会挨拶＞

2年間の任期があっという間に過ぎ、今は肩の荷が下りてホッとしています。大過なくすごせたのも皆様のご協力のおかげです。先週、ISO/TC10の総会が三田の規格協会ビルで開催され、その中のWG18で筆記具関係の会議を行いました。現在、WG18のコンビーナ（議長職）はサクラクレパスの塩井顧問が務めており、JWIMAの会員企業の方にも出席していただきISOの規格審議を日本主導で進めています。ずっと以前、筆記具産業協議会の時代の時もISO/TC10/SC9（筆記具類の小委員会）では、数原洋二氏（三菱鉛筆㈱名誉会長）がコンビーナを務め活躍されていたことを覚えています。今の日本の筆記具産業の隆盛は、これまで頑張ってきた業界の方々のご努力の上にあるということを確認しなければなりません。今後も日本が世界の筆記具業界のリーダーシップを取っていくためにも、ISO/TC10/ WG18の議長職を続けていくことが必要ですので、これからも工業会の活動の支援は続けたいと思います。

＜小川新会長 挨拶＞

今年度より2年間、筆記具工業会の会長を務めさせていただきます。たいへん身の引き締まる思いです。西村前会長におかれては日本経済が非常に難しい状況の中で、私どもを正しい方向に舵取りをしていただきありがとうございました。皆さんご承知の通りJWIMAは2001年に設立され、ここ10年間の間

に私どもは様々な新製品開発を行い高付加価値化に努めてまいりました。その結果、日本の筆記具の知名度、信頼性というのはその地位が築けたものと思います。私としましても微力ではございますが、さらに発展できるよう精一杯務めさせていただく所存です。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



＜小川新会長が取り組む重点課題＞

1. 新製品開発力の強化

商品開発力、付加価値創造力、新製品提案力を一層強化し、国内においてはマーケットの創造、海外においては国際競争力を高めていく。良質な日本のマーケットを背景に、独自の価値創造プロセスを持って書く喜びを創造していく。

2. 品質レベルの向上

品質レベルの一層の向上を目指す。品質は定番品のライフサイクルを担保する重要な要素であり、また、新製品開発においては普及・定着のカギを握っている。国際的にも我が国筆記具の品質は高い評価を得ており、ジャパンプランドの一翼を担って、更なるレベルの向上を目指す。

3. 環境と製品の安全性

環境及び製品安全規格がこれまではたしてきた役割を改めて調査研究し、時代に即した実効性と妥当性のある規格の在り方を協議検討し、関係各位の協力のもとこの分野における国際的リーダーシップの確立を目指す。

ISOT 2015

知的財産権特別セミナー 報告

2015. 7. 9 東京ビッグサイト 会議棟 101 会議室

本工業会ならびに（一社）全日本文具協会は、ISOT2015 会期中の 7 月 9 日（木）14 時から東京ビッグサイト会議棟 101 会議室にて、90 名参加のもと知的財産権特別セミナーを開催しました。



今回のセミナーは第1部から第3部までの講演形式で、第1部は、経済産業省模倣品対策室野田佳伸室長補佐が「日本政府の模倣品・海賊版対策の現状」について講演。

第2部では、独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）知的財産課松原敬祐課長代理より「JETROにおける中小企業等の模倣品対策支援」について説明が行われました。

第3部では、QCAC駿麒国際諮詢有限公司国際事業部安達孝裕マネージャーより「中国における文具の模倣品の現状と効果的対策の提案」について解説が行われました。

第12回JWIMA会員親睦ゴルフコンペ

2015. 10. 9 我孫子ゴルフ倶楽部にて



10月9日（金）千葉県我孫子市の我孫子ゴルフ倶楽部にて、第12回 JWIMA会員親睦ゴルフコンペを開催いたしました。出席者は4組14名で、それぞれ日頃の腕を競い合いました。当日はお天気に恵まれ爽やかな秋晴れの下、気持ちよくプレーをすることができました。



コースは、名門コースだけあってとても美しく整備されており、フラットで優しいかと思いきやグリーンがとんでもなく難しく、皆パッティングで苦心していました。

そんな中、HC 3でみごと優勝を果たしたのがJWIMA小川晃弘会長でした。また、準優勝は惜しくも同ネットで開催した(株)守屋彫刻工芸の守屋貴彦さんでした。お二人ともおめでとうございます。次回もまた良いコースでのコンペを企画しますので、ご期待ください。



EWIMA 技術委員会・BIC 社 出張報告

2015.10.13～14 / ドイツ・ミュンヘン、フランス・パリにて

報告：三菱鉛筆(株) 横浜研究開発センター 課長 中山 協氏

10月13日にミュンヘンで行われたEWIMA（欧州筆記具工業会）技術委員会にISO/TC10/WG18のコンピナーである塩井氏（株）サクラクレパス）、シャープペンシルとボールペン類のIS（国際規格）新規制定と改正プロジェクトリーダーの小野氏（三菱鉛筆(株)）と共に出席しました。翌14日はパリに移動しBIC本社を訪問、「一般用シャープペンシル及びその芯」の新規制定原案とボールペン類の改正課題について、打ち合わせを行ってまいりました。



EWIMAでは、塩井氏からWG18が担当しているISO活動全般について報告がありました。今5月の東京会議の主議題であった一般用シャープペンシルの新規制定については、プロジェクトの最初の会合が行われたこと、2018年2月が最終原案のタイムリミットであることなど、また油性、水性およびゲルボールペンの3規格とVocabularyについては改正が決議され、エキスパート募集を行ったこと、などについてです。また、ボールペン類の改正点である「試験紙の統一」に関して、スイスのEWIMA委員から日本案に反対の立場から制定の歴史（欧州は油性、日本は水性を担当）と現状についての説明がありました。塩井氏からは意見があるならばISOで議論をして欲しいとの返答があり、最後に来年のISOはベルリンで開催されるので、欧州からもたくさん出席してもらうよう案内がありました。その他のEWIMA技術委員会の議題は今回も「製品安全性」に関連するものです。

翌日は午前中にパリに移動、午後にBIC社訪問の計画でした。予定通りシャルルドゴール空港に降り立ったもののタクシー乗り場は長蛇の列で一向に進みません。様子を見ようと出口ゲートに向かうと、なんと自動小銃をかかえた迷彩服の兵士に阻止されてしまいました。その時は、余り緊張感を感じられませんが、今思えばすでにテロに対する警戒が強化されていたのでしょう。その後パリ市内のあちこちで同様の兵士の姿を見かけました。

翌日は午前中にパリに移動、午後にBIC社訪問の計画でした。予定通りシャルルドゴール空港に降り立ったもののタクシー乗り場は長蛇の列で一向に進みません。様子を見ようと出口ゲートに向かうと、なんと自動小銃をかかえた迷彩服の兵士に阻止されてしまいました。その時は、余り緊張感を感じられませんが、今思えばすでにテロに対する警戒が強化されていたのでしょう。その後パリ市内のあちこちで同様の兵士の姿を見かけました。

空港内に話を戻します。日本とは違って当局から何の説明もなく、かつ騒ぐ人もない不思議な長い列を離れ、電車でパリ市内に移動することにしました。適当な駅で降りタクシーを捕まえホテルへ向かい、荷物を預けて即BIC社へ。昼食抜きになりましたがBIC社との打ち合わせには何とか間に合うことができました。

BIC本社での打ち合わせは、BIC社員4名（うち2名は東京会議出席者）と我々3名の計7名で、時に白熱した議論となり3時間におよびました。一部課題は残りましたが、有意義な討論でした。次の目標は、それらを踏まえたシャープペンシルの修正原案を来年1月にISOへ提出することです。



第12回「JWIMA 会員研修会」開催



本工業会は、10月21日台東区柳橋のベルモントホテルにて、第12回JWIMA会員研修会を開催しました。この研修会は、会員同士の情報共有と交流をはかるために毎年実施しており、講座も会員のニーズに合わせて各分野のスペシャリストに講師をお願いしています。今回も約50名の会員が出席、それぞれの講義に熱心に耳を傾けていました。



【第一部】 これから始まるマイナンバー制度

講師：(一社)日本個人情報管理協会 専務理事 内山和久 氏

今、私たちは様々な個人情報漏洩リスクにさらされています。ベネッセやローソンなどの民間企業ばかり、日本年金機構や東京商工会議所など国や公的機関でも個人情報の漏洩事件が起こっています。PCへの不正アクセスやハッキングがよく話題になりますが、実際には人的ミス（紛失・送付ミスなど）によるものが85%以上です。

来年1月からマイナンバー制度が始まりますが、この10月からそれぞれの自治体より各個人へ個人番号の通知が行われます。（その後、申請により個人番号カードが交付される。）これは12桁からなる番号で、これにより個人の識別を行います。当面利用されるのは社会保障と税に関わる分野で、雇用保険、健康保険、厚生年金と給与所得における源泉徴収などでマイナンバーの記載が必要となります。

マイナンバーが漏洩すると大変なことになると過剰反応する人がいますが、個人番号そのものは他人が取得しても役に立たないので過敏になる必要はありません。しかしながら、個人情報とマイナンバーが一緒になったものは「特定個人情報」となり、様々な重要個人情報にリンクするため厳重な保護措置が必要となります。また、特定個人情報の不正提供・不正取得については、これまでの個人情報保護法より数段厳しい罰則が設けられており、4年以下の懲役もしくは200万円以下の罰金となります。

マイナンバー制度の準備と実務については資料をよくご覧いただき、社内で周知徹底をお願いいたします。また、事業所内ではできるだけ「マイナンバーと他の個人情報は分けて保管する」ようにしてください。その方がリスクは小さくできることを申し添えさせていただきます。

【第二部】 インドネシアの魅力と世界の鉛筆事情

講師：(株)スラムット 代表取締役社長 茂木正朗 氏

世界の鉛筆生産数量については、これまではっきりとは分かりませんでした。最近中国の数字がつかめたことから概算が出来るようになりました。それによると年間2.5億～3億本となり。内訳は、中国15,000万本、インド3,000万本、東南アジア2,000万本、北米2,000万本、南米2,000万本、欧州1,000万本、日本200万本、その他1,000万本となっています。

私の会社は、インドネシア最大の鉛筆メーカーPT.LMBグループの日本総代理店を行っており、日本の鉛筆メーカーに軸板（スラット）を輸入販売しています。PT.LMBは、世界の主要メーカーの鉛筆をOEM生産しており、またスラットの供給も行っています。世界のトップ10にスラットを納めていますので、ここでは世界の様子が見えます。スラットは古くから北米産のインセンスシダーが使われていましたが、供給数が限られているため、現在は価格が高い高級品に使用されています。そのインセンスの代替として他の樹種の開発が進み、現在はホワイトフィア（米モミ）が世界では主流になっています。そして、更に安いスーパーK（インドネシア南洋材）が注目を集め、需要を伸ばしています。また、現在は世界的に環境保護への関心が高まっていますので、鉛筆も森林保護認証のマークを付けたものが多く流通しています。（欧米ではほぼ義務付けられている。）日本ではまだそこまで意識は高くありませんが、化粧品業界へ供給しているアイペンシルなどは既に認証マーク入りとなっています。

インドネシアの魅力は、①人口2.4億の消費大国、②豊富な天然資源、③政治・経済・治安が安定し、購買力も増加、④低廉で質の高い労働力、⑤国が若い（平均年齢28歳）、⑥世界有数の親日国家で社会主義ではないなどで、日本人・日本企業にとって進出成功しやすい国です。



..... お知らせ

■JIS S 6013 : 2015 (シャープペンシル) 改正版 発行

JIS S 6013 (シャープペンシル) の改正版が7月21日付で発行となりました。主な改正点は、「多機能ペンのシャープユニット」や「0.4mm芯径タイプ」が加わったこと、ならびに有害物質試験の対象が14歳以下の子供用に限定されたことなどです。また、お持ちでない方はお早めにご購入下さい。（JWIMAを通して購入すれば1割引きとなります。）

■年末講演会・懇親会

日時：平成27年12月7日（月）17:00～講演会、18:20～懇親会
場所：上野精養軒

講演テーマ：「これからの中国！」

講師：石平（せき へい）氏

（中国問題評論家・拓殖大学客員教授）

1962年 中国四川省生まれ。

中国北京大学哲学部卒、神戸大学大学院文化学博士課程修了。

2002年からフリーの立場で評論活動に入る。

2007年日本国籍に帰化。2008年拓殖大学客員教授就任。

【著作物】

- ・『中国「歴史認識」の正体 ～繰り返される歴史改ざんの大罪』（宝島社）
- ・『中国人はなぜ「お金」しか信じないのか／「中国三大宗教」と「共産革命」の悲劇』（ベストセラーズ）

参加費：講演会は無料（懇親会参加の場合は 10,000円）



平成27年度 4月～10月委員会・部会活動報告

＜総務関係＞

- 4.7 総務委員会（平成27年度第1回）
 - ・H26年度事業報告書（案）ならびに収支決算書（案）について
 - ・H27年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
 - ・役員任期満了改選について
 - ・H27年度第1回理事会開催について
 - ・第14回通常総会について
- 7.6 総務委員会（平成27年度第2回）
 - ・秋～年末の行事計画について
 - ・その他
- 8.25 書育推進協議会 運営委員会
 - ・H26年度事業報告及び決算書類について
 - ・H27年度事業計画及び収支予算について
 - ・その他
- 10.7 総務委員会（平成27年度第3回）
 - ・秋～年末の行事について
 - ・H27年度上期活動状況報告について
 - ・H27年度上期収支報告について
 - ・H27年度第3回理事会運営について
 - ・その他
- 10.25 書育推進協議会 運営委員会
 - ・解散総会開催について
 - ・会員への解散報告について
 - ・解散総会資料について
 - ・その他

＜調査研究・広報 関係＞

- 8.7 調査研究・広報委員会（平成27年度第1回）
 - ・2016 JWIMA 技術交流会の企画について
 - ・その他

＜流通 関係＞

- 5.22 お客様相談窓口連絡会（平成27年度第1回）
 - ・各社のお客様対応事例について
 - ・様々な筆記対象物との適合（お役立ち情報）について
 - ・その他（懸念情報ネットワークの更新）
- 8.27 お客様相談窓口連絡会（平成27年度第2回）
 - ・各社のお客様対応事例について
 - ・様々な筆記対象物との適合（お役立ち情報）について
 - ・その他
- 10.28 お客様相談窓口連絡会（平成27年度第3回）
 - ・各社のお客様対応事例について
 - ・様々な筆記対象物との適合（お役立ち情報）について
 - ・部会長の交代について
 - ・その他

＜技術国際 関係＞

- 4.9 鉛筆部会（平成27年度第1回）
 - ・部会長選任の件
 - ・ISO 9180（鉛筆）5年見直しについて
 - ・その他（硬度記号Fの意味について）
- 4.24 WG18 エキスパート会議

- 5.10 ISO/TC10/WG18 東京会議事前打合せ
- 5.11 ISO/TC10/WG18 東京会議
- 5.12 ISO/TC10/WG18 東京会議結果確認打合せ
- 5.21 製品安全小委員会（平成27年度第1回）
 - ・安全関連情報について（配布資料の説明）
 - ・筆記具安全基準について
 - ・その他 情報交換
- 5.29 ボールペン部会（平成27年度第1回）
 - ・ISO/TC10/WG18 東京会議の報告
 - ・その他
- 5.29 シャープペンシル部会（平成27年度第1回）
 - ・ISO/TC10/WG18 東京会議報告について
 - ・ISO 9177-2, -3 定期見直しについて
 - ・その他
- 6.5 マーキングペン部会（平成27年度第1回）
 - ・業界基準のWTO 通報について
 - ・ISO 9175 の5年見直しについて
 - ・JIS S 6060（安全キャップ）の見直しについて
 - ・その他
- 7.17 シャープペンシル部会（平成27年度第2回）
 - ・ISO/WD 20318-1, -2（一般用シャープペンシル及びその芯）について
 - ・その他
- 8.19 製品安全小委員会（平成27年度第2回）
 - ・安全関連情報について
 - ・筆記具安全基準について
 - ・その他（情報交換）
- 8.20 BP エキスパート会議
- 9.4 シャープペンシル部会（平成27年度第3回）
 - ・ISO/WD 20318-1, -2（一般用シャープペンシル及びその芯）について
 - ・ISO 規格の5年見直しについて
 - ・JIS S 6060（安全キャップ）の見直しについて
 - ・その他
- 9.14 万年筆部会（平成27年度第1回）
 - ・JIS S 6025（万年筆）5年見直しについて
 - ・その他
- 9.18 BP エキスパート会議
- 10.19 技術国際委員会（平成27年度第1回）
 - ・H27年度上期各部会活動報告について
 - ・国際標準提案活動報告について
 - ・その他
- 10.30 ボールペン部会（平成27年度第2回）
 - ・ボールペン ISO 規格の改正について
 - ・その他（BP 互換性表の更新）

＜JIS 改正 関係＞

- 5.20 JIS S 6013 消費生活技術専門委員会（JISC 審議会）

＜全文協との共催 関係＞

- 4.15 合同知的財産部会
- 6.16 知財リーダー会議
- 7.8 合同知的財産部会
- 7.9 知的財産権特別セミナー

2014年の出荷・輸入・輸出 =年間=

繊維・生活用品統計（旧雑貨統計）より（国内向け販売と輸出向け販売を含む）

金額：百万円

出荷	単位	2014年間		2013年間		前年変動率 (%)	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	384,126	24,727	396,665	24,647	-3.2	0.3
ボールペン(水性)	千本	1,081,999	46,675	1,032,355	43,486	4.8	7.3
マーキングペン	千本	787,818	37,695	736,771	35,517	6.9	6.1
シャープペンシル	千本	140,589	15,692	144,456	14,943	-2.7	5.0
鉛筆	G	1,689,659	5,895	1,662,357	5,738	1.6	2.7
シャープしん	千本	2,997,197	5,256	2,787,393	3,994	7.5	31.6
修正液	千本	23,522	2,041	25,429	2,148	-7.5	-5.0
修正テープ	千個	49,702	4,359	51,062	4,485	-2.7	-2.8
クレヨン・パス・水彩絵の具	千本	129,711	3,736	127,736	3,715	1.5	0.6
			146,076		138,673		5.3

日本貿易統計より(抜粋)

輸出	単位	2014年間		2013年間		前年変動率 (%)	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	157,137	6,704	162,691	6,820	-3.4	-1.7
ボールペン(水性)	千本	724,037	35,560	677,445	31,445	6.9	13.1
マーキングペン	千本	355,358	15,461	325,886	13,936	9.0	10.9
シャープペンシル	千本	81,527	5,666	83,615	5,410	-2.5	4.7
万年筆・製図用ペン	千本	9,055	1,326	6,289	1,020	44.0	30.0
以上のセット品	千個	735	159	619	117	19.1	36.4
黒芯鉛筆	Kg	110,258	350	94,244	276	17.0	26.8
色芯鉛筆	Kg	60,957	228	61,148	223	-0.3	2.1
修正液	千個	16,788	1,326	17,919	1,390	-6.3	-4.6
修正テープ	千個	0	0	163	9	—	—
			66,780		60,646		10.1

日本貿易統計より(抜粋)

輸入	単位	2014年間		2013年間		前年変動率 (%)	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン	千本	205,978	7,729	218,920	7,069	-5.9	9.3
マーキングペン	千本	220,581	4,337	216,230	4,070	2.0	6.6
シャープペンシル	千本	36,771	1,464	44,081	1,735	-16.6	-15.6
万年筆・製図用ペン	千本	1,622	1,489	2,211	1,395	-26.6	6.7
セット品	千個	751	79	961	64	-21.9	23.2
黒芯鉛筆	Kg	573,559	928	628,795	888	-8.8	4.5
色芯鉛筆	Kg	1,279,602	1,543	1,291,921	1,432	-1.0	7.7
修正液	千個	0	0	2,089	56	—	—
修正テープ	千個	51,876	2,093	52,858	2,191	-1.9	-4.5
			19,662		18,900		4.0

2015年上半期(1~6月) 出荷 速報

出荷	単位	2015年(1~6月)		2014年(1~6月)		前年変動率 (%)	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	199,254	12,933	195,471	12,964	1.9	-0.2
ボールペン(水性)	千本	587,237	27,263	557,850	24,526	5.3	11.2
マーキングペン	千本	438,300	20,114	382,613	18,166	14.6	10.7
シャープペンシル	千本	82,248	9,500	74,497	8,215	10.4	15.6
鉛筆	G	909,475	3,330	860,544	3,057	5.7	8.9